

東京モーターショーに行こう!



http://www.tokyo-motorshow.com

自動車総連 スズキ労連は『国内市場の活性化』に取り組んでいます

もっと車を知ってほしい
もっと車に乗ってほしい
もっと車に興味を持ってほしい
だから…

自動車総連は労働組合として初めて
東京モーターショー2009へ出展します!

自動車総連は東京モーターショーへ出展し、子供向けのイベントを開催します。職場の皆さんから募集した「未来のくるまの絵」の展示や子供たちに車の魅力を伝えるイベントを行います。子供たちに楽しい思い出と車に触れ合う時間を提供し、車の魅力を伝えることで、一人でも多くの「くるまファン」を作っていくための新たな試みです。皆さんも、是非ご家族連れでご来場ください!!

第41回東京モーターショー2009

開催期間: 2009年10月24日(土)～
11月4日(水)[一般公開日]
会場: 幕張メッセ(千葉県幕張市)
入場料: 大人/当日1300円(前売り1100円)
高校生/当日600円(前売り500円)
中学生以下/無料!

自動車総連ブーステーマ「親子deものづくり」



ペーパークラフトやモーター工作など参加無料で体験できます!!

※入場券はスズキ労連では取り扱っておりませんのでご了承願います。

募集してます!! 『未来のくるまの絵』

～9月11日(金)まで



スズキ労連では、東京モーターショーへ出展する『未来のくるまの絵』を募集しています。楽しいくるま、便利なくるま、面白いくるま、子供たちの考える『未来のくるま』を自由に表現してください!!応募作品の中から10作品を厳選し、東京モーターショーの自動車総連ブース内に展示いたします。たくさんのご応募お待ちしております!

《募集要項》

- テーマ: 『未来のくるまの絵』(くるま=四輪車、二輪車、大型車など)
- 対象: 組合員の家族で小学生以下の子供(1人1作品)
- 規格: 画用紙(八つ切りサイズ271mm×391mm)・横書き
- 画材: 自由(クレヨン、色鉛筆、マジック、絵の具等)
- 締切り: 2009年9月11日(金)必着
- 応募先: 組合事務所または書記局までご提出下さい。
- 賞品: 参加賞(応募者全員)・展示記念賞(選考10作品)
(詳しくは組合役員までお問い合わせ下さい。)

スズキ労連 第38回定期大会 開催案内

2年間の運動方針を審議、決定した昨年の第37回定期大会から早一年です。中間期にあたる今年の定期大会は、前半一年間の活動を振り返るとともに、「安心・確かな暮らし」に向け、後半一年間の具体的活動のスタートとして開催されます。

- ◇日時/ 2009年9月13日(日)10:00～
- ◇場所/ 浜松市商工会議所 マイカホール
- ◇内容/ 【報告承認事項】

- ①第37期活動経過報告 ②第37期会計決算報告 ③第37期会計監査報告
- 【議件】
- ①第38期運動方針の補強(案)の件 ②第38期予算(案)



【スズキ労連】機関誌に対するご意見・ご要望がございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20(スズキ労働会館内)
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838
e-mail: mitsuda@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇ <http://saw.gogo.tc/>
*スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関誌
共通パスワード… saw2007

【編集後記】いよいよ労働会館の建て替え工事が始まります。会館に間借りしていたスズキ労連の事務所も仮事務所に引越します。一年以上の仮住まいですが、メーカー本社や高塚駅から離れてしまい、少しご不便をお掛けいたしますが、ご理解の程よろしくお願いたします。電車通勤の小生にとってもちょっと辛い仮事務所通いです。(次長)



仕事、職場、労働条件、コンプライアンス、人間関係、私生活…悩みはいろいろあるけれど、職場ではちょっと相談しにくいなあ。
こんな時にはお電話を!
0120-500-073
*月～金 9:00～19:00
相談無料・秘密厳守

スズキ労連

2009年8月 第328号

2009年
8月号

静岡県浜松市南区増楽町20
電話〈053〉447-3079
スズキ関連労働組合連合会
発行人 加藤幸博
編集人 光田 玄

2009年スズキ労連労使会議 開催

「この難局を労使一体となって乗り切るために…」
スズキグループの現状と課題について労使の共通認識を深める



《組合側》
32名が参加

2009年 労連労使会議
於: グランドホテル浜松 ゲストハウス

《会社側》
20名が参加



スズキ株式会社
相澤取締役専務役員(生産本部)の講演



スズキ株式会社
佐藤常務役員(国内営業本部)の講演

スズキ労連は毎年、加盟組合労使による「スズキ労連労使会議」を開催しています。労使会議ではスズキグループの労使の信頼関係をさらに深めるとともにスズキグループとしての会社施策の確認、労使での課題認識の共有化、労働条件向上、会社の業績向上について意見交換を行っております。

今年は7月20日(月)、グランドホテル浜松にて労使双方で52名が参加のもと労使会議を開催し、昨秋以降の厳しい情勢下において、来年度の採用計画、販売減が続く国内市場におけるイメージ戦略、業販システムにおける整備面での課題、販売会社のES(従業員満足度)向上、退職金制度変更など、多岐に亘るテーマについて意見交換しました。

また、スズキ(株)生産本部と国内営業本部から現在の取り巻く環境やグループの業績、現状の打開に向けた今後の取り組みについて講演をいただき、スズキグループが置かれている非常に厳しい現状と課題について労使での認識を共有化するとともに、この難局を乗り越えるために、今まで以上に労使の一体感を強め、信頼関係を深めていくことの必要性について再確認しました。

《2009年 労連労使会議》

- ◇日時/ 2009年7月20日(月)
- ◇場所/ グランドホテル浜松 スズキゲストハウス
- ◇出席者/ 組合側:32名 会社側:20名
- ◇内容/
 - 1) スズキ労連 加藤会長 挨拶
 - 2) スズキ株式会社 彌吉 正文 常務役員(管理本部 副本部長)挨拶
 - 3) 自己紹介
 - 4) スズキ労連の活動報告 根木事務局長
 - 5) スズキグループ方針説明
 - ①講演「国内生産および海外生産の状況と今期の生産本部の取り組み」 スズキ株式会社 相澤 直樹 取締役専務役員
 - ②講演「国内市場の状況と今後の国内販売戦略について」 スズキ株式会社 佐藤 薫 常務役員
 - 6) 質疑応答
 - ①来年度のスズキグループの採用計画について
 - ②国内市場におけるイメージ戦略について
 - ③次世代環境車への対応として業販システムにおける整備面の課題
 - ④魅力ある販売会社づくりに向けたES向上の一環としての休日・働き方について
 - ⑤退職金制度変更の対応について

2009年スズキ労連労使会議 質疑応答内容(抜粋)

①来年度のスズキグループの採用計画の考え方について

Q.生産量減少に伴い、スズキグループでの生産部門では、工場間応援、関連会社出向や代理店出向などを実施した上で、の一時帰休、また間接部門では、生産部門と一緒に痛みを分かち合う目的において難局を乗り越えるべく一時帰休を実施しているという現状を踏まえ、来年度以降スズキグループの採用計画の考え方について伺いたい。

A.工場部門の来期の採用計画は原則無い。現在の雇用確保に向けて内作化を計画的に進めていく。

②国内市場におけるイメージ戦略について

Q.軽四輪のイメージの訴求(コマーシャル)戦略の具体的方策について伺いたい。またツインのようなクルマを再び出す予定はないか。

A-1.エコカー補助金制度は軽より登録車有利なことは否めないが、しっかりと取り込み拡販につなげたい。パレット、アルトもモデルチェンジを行い補助金対象車となるため、材料が広がる。TVCMやチラシでも制度を積極的にアピールしている。しかし、訪問活動を基本に、他社よりも早くユーザーに接触することが大事だと認識している。ツインのようなコンセプトのクルマが今の時代に即していることは同感である。

A-2.軽四輪のメリットはいまでも市場実態面からアピールをしていたが、ハイブリッド車の燃費が大きく注目される中で、走る段階だけではなく、生産から廃車まで車両生涯のCo2排出量(ライフサイクルアセスメント)という観点で検証を行い、軽四輪が環境にやさしい乗り物であるということアピールできるデータ収集が必要かもしれない。

③次世代環境車への対応として業販システムにおける整備面での課題

Q.現在開発が進められている次世代環境車は車両のシステムや構造が複雑になると考えられるが、業販比率の高いスズキの販売体系において、業販店に対して整備面でのような指導・育成を計画されているのか伺いたい。

A.全国の代理店では販売店向けサービス勉強会を開催している。今後もこれを充実させていく。また代理店サービスのレベルアップも必要。大型モニターを活用したサービスメニューの提供も考えていきたい。

④魅力ある販売会社づくりに向けたES向上の一環としての休日・働き方について

Q.魅力ある販売会社づくりに向けて、ES(従業員満足度)の観点からも仕事と生活における時間軸での調和、いわゆるワークライフバランスを確立することが大切である認識している。販売会社の魅力を高めていくという観点から、販売会社の休日確保および働き方について、今後のあるべき姿への見解を伺いたい。

A-1.最近では販売会社の休日取得も改善されている。ESが無ければCSはないと考えている。スズキ販売労組の結成も進んでおり、その点もプラスに働いている。従業員がメリハリと意欲を持って働ける職場風土作りがES向上につながるかと考えている。現在、SEEDを利用したモバイルPCによる受注システムを試験しているが、これが確立できれば、業販の業務効率化が図れる。

A-2.国内営業の直販においては、平日定休日の設定やローテーションの確立で個人の休日は確保できている。問題は業販だが、振替休日の取得徹底について人事部と営業部でもう一度見直しを図る。仕組みはあるので、これをしっかりと運用するために経営者の理解を深める必要がある。

⑤退職金制度変更の対応について

Q.適格年金制度が2012年3月に廃止されることが決定しているが、スズキ労連加盟単組においても退職金制度の変更が必要な会社がある。組合としては制度見直しにより水準の低下を招くことのないようチェックを行なうつもりだが、各社の現段階での進捗状況を伺いたい。

A.人事の方でも今月から具体的な話し合いを始めた。各社様々な課題があるが最終的にはスズキグループ統一の制度を提案したい。会社側、組合員側お互いにとってマイナスにならない仕組みづくりを目指しており、前段階で組合側からの意見もいただきながら、年度末までには提案したい。

第45回衆議院議員選挙

スズキ労連推薦立候補予定者の紹介

まきの 聖修
(まきの せいしゅう)
静岡県第1区 民主党/元職
1945年生まれ

細野 豪志
(ほその ごうし)
静岡県第5区 民主党/現職3期
1971年生まれ

古本 伸一郎
(ふるもと しんいちろう)
愛知県第11区 民主党/現職2期
1965年生まれ
選挙区:豊田市(旧稲武町の区域以外)西加茂郡

津川 祥吾
(つがわ しょうご)
静岡県第2区 民主党/前職
1972年生まれ

渡辺 周
(わたなべ しゅう)
静岡県第6区 民主党/現職4期
1961年生まれ

鈴木 克昌
(すずき かつまさ)
愛知県第14区 民主党/現職2期
1943年生まれ
選挙区:豊川市、豊田市(旧稲武町の区域)蒲郡市、新城市、北設楽郡、宝飯郡

小山 展弘
(こやま のぶひろ)
静岡県第3区 民主党/新人
1975年生まれ

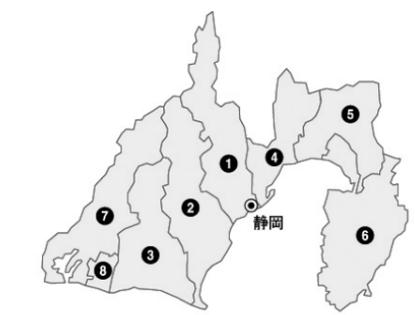
斉木 武志
(さいき たけし)
静岡県第7区 民主党/新人
1974年生まれ

森本 かずよし
(もりもと かずよし)
愛知県第15区 民主党/新人
1966年生まれ
選挙区:豊橋市、田原市

田村 謙治
(たむら けんじ)
静岡県第4区 民主党/現職2期
1968年生まれ

斉藤 進
(さいとうすすむ)
静岡県第8区 民主党/新人
1970年生まれ

静岡県衆議院小選挙区



詳しくは県選挙管理委員会ホームページなどで確認して下さい。

区	市区町村
1区	静岡市葵区(第4区に属しない区域)、静岡市駿河区
2区	島田市、焼津市、藤枝市、御前崎市(第3区に属しない区域)、牧之原市、榛原郡吉田町、榛原郡川根本町
3区	浜松市天竜区(第7区に属しない区域)、磐田市、掛川市、袋井市、御前崎市(旧浜岡町)、菊川市、周智郡森町
4区	静岡市葵区(旧清水市)、静岡市清水区、富士宮市、富士市(旧富士川町)、富士郡芝川町
5区	三島市、富士市(第4区に属しない区域)、御殿場市、裾野市、伊豆の国市(旧伊豆長岡町)、田方郡函南町、駿東郡小山町
6区	沼津市、熱海市、伊東市、下田市、伊豆市、伊豆の国市(第5区に属しない区域)、賀茂郡東伊豆町、賀茂郡河津町、賀茂郡南伊豆町、賀茂郡松崎町、賀茂郡西伊豆町、駿東郡清水町、駿東郡長泉町
7区	浜松市中区(西丘町、花川町)、浜松市西区、浜松市南区(増楽町、高塚町、東若林町、若林町)、浜松市北区、浜松市浜北区、浜松市天竜区(旧天竜市、旧水窪町、旧佐久間町、旧龍山村)、湖西市、浜名郡新居町
8区	浜松市中区(第7区に属しない区域)、浜松市東区、浜松市南区(第7区に属しない区域)

特定非営利活動法人(NPO法人) 交通遺児等を支援する会

第6回 チャリティーマザー 物品提供のお願い

「交通遺児等を支援する会」では、前身である交通遺児母の会の活動を継続し、病気などにより経済的負担を強いられている母と子に対する「緊急一時貸付」・「越年助成金」を得るため、11月1日(日)、東京・新宿のエステック情報ビル「エステック広場」でチャリティーマザーを計画しています。自動車総連・スズキ労連はこの活動を支援するために今年もバザー提供品の募集をいたします。皆様から暖かいご支援を宜しくお願いします。

〈ご提供頂きたい品物〉

- 食料品(生鮮食品を除き、保存可能な物)お茶、缶詰等
- 日用品 タオル、シーツ、石鹸、玩具、敷き毛布、美術工芸
- 衣類(新品に限る)靴、バック、アクセサリ 等々

10月16日(金)までにスズキ労連事務局まで

スズキ労働会館 建て替えにともなう スズキ労連事務所移転のお知らせ

スズキ労連の事務所があるスズキ労働会館(浜松市南区)は、築40年以上が経過し、老朽化が進み、耐震性も低いことから、建て替えることとなりました。

8月下旬より現労働会館の取り壊しが始まり、2010年11月に新労働会館の完成を予定しております。工期中、スズキ労連事務局は、スズキ労働組合、スズキ販売労働組合本部と一緒に下記の仮事務所へ一時的に移転いたします。何かとご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いします。

- 移転先住所**
浜松市南区小沢渡町12-1(旧)イオ インダストリー(株)
TEL 053-447-3079 FAX 053-440-2838
※可美総合センターより南へ徒歩3分
※現スズキ労働会館より南へ徒歩15分
- 移転先稼働日**
2009年8月18日より稼働(引越日予定:8/10、11)

スズキ労連 組織内議員「田口 章」は考える。

こども第一主義条例

〈田口章ブログ7月30日記事より抜粋〉

難しいテーマなので、悩みながら書いています。7月30日(木)に「厚生保健委員会」があり、「こども第一主義条例案」について議論しました。非常に奥の深い議題なのですが、考えがまとまらないまま委員会を迎えてしまい、的確な意見を述べる事ができませんでした(反省)。

地方自治体が策定している「こども条例」には、大きく「育成」、「少子化対策」、「権利」の3つのテーマがあり、どこに主眼を置くかによって自治体の特色が表れています。(札幌市のサイトにいろんな自治体の情報があります)現在の浜松市の条例案は「育成」に主眼を置いています。しかし、まだ自分の中でも結論づけてはいませんが、「健全育成」のために権利制限や義務づけするような条例はちょっと違うのではないかと感じています。一方、「権利」主眼の条例は、行き過ぎるとカン違いする(権利ばかり振りかざす)こどもが出てくることもある…という弊害も指摘されました。3人の子を持つ親として、またPTAや健全育成活動に携わったものとして感じていることは…、「言葉のハンデやいじめに悩むことなく、すべての子どもたちが、笑顔で学校に通えるような社会」をイメージしたいのですが、言葉で条例化するのには難しいものです。9月15日(火)から「パブリックコメント」を募集しますが、多くの市民の声で、よりよい条例にする必要があります。

「おもしろきこともなき世をおもしろく」
「今より早いときはないがモーターです。」
浜松市議会議員 田口 章

浜松市議会議員「田口 章」です。民間企業23年間のサラリーマンの視点で、企業人として、生活者として、10年、20年後の浜松のために、身近な政治改革にチャレンジします。

田口章の「創ろう! 元気な浜松」
http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/

労連HPからもアクセスできます。

田口章 ブログ更新中